



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第11回例会(9月27日)
令和元年10月4日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 西島光茂
川徳デパート内 幹 事 勝 雅行
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 金沢 滋
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ...マーク・ダニエル・マローニー
盛岡RC会長テーマ 令和元年:世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋げましょう-西島光茂



ゲスト卓話

岩手から羽ばたくメジャーリーガー

岩手日報社 編集局運動部 次長

小田野 純一 様

今年、岩手の球史に大きな1ページが生まれました。世界最高峰の米大リーグで菊池雄星（マリナーズ）、大谷翔平（エンゼルス）の本県出身2選手が対戦したのです。初対戦を現地で取材しましたが、地元ファンも岩手対決を理解するほど盛り上がりました。

2人とも同じ花巻東高出身で、もちろん意識はしています。先輩という負けられない立場、直球投手に強い大谷とあって、菊池は対戦を好む…というほどではないですが、後輩の実力を一番に認め、岩手から世界一を目指す同志として高め合っていければいいと考えています。対して大谷は高校時代に菊池に憧れて入学した経緯もあり、対戦を好んでいます。日本人投手相手だと普段よりも燃える大谷はメジャー初対戦の6月8日にいきなり第3打席で本塁打。成長の証を先輩に見せつけました。ただ、そのままで終わらないのが経験豊富な菊池。配球を変えながら三振も奪った。3試合で7打数3安打、1本塁打、1四球、2三振でした。

我々にとっては結果自体も楽しいですが「ホームランを打った打てなかった、抑えた抑えられなかったではない。この舞台で対戦できたことがすごく大きかった」と、大谷は世界最高峰のフィールドに2人が同時に立っていることの価値を語りました。

今年、2人だけでなく、大船渡高3年の佐々木朗希投手が春に163km/hを計測。夏の岩手大会では大谷選手と並ぶ、高校公式戦最速160km/hをマークしました。全国で話題と成り、岩手大会には全国

から多くの観衆、報道陣が押し寄せ、早朝5時から取材を始める異様な大会となりました。U-18日本代表のメンバーにも選ばれ、中指の血豆で短いイニングの出場のみとなってしまいましたが、ブルペンでの投球は岩手の至宝と感じさせるものすごい直球を投げていました。

「なぜ岩手からこんなに逸材が生まれるのか」とよく聞かれます。要因は、▽指導者の成長▽技術や筋力トレーニングの情報が身近になった▽動画を容易に撮影できる環境、などさまざまあると思いますが、これだどどの都道府県にも当てはまります。菊池投手との雑談では花に例えて説明。「周りの愛情、温かく見守る環境が選手を育ててくれる。花も放っておいたら枯れるでしょ。僕は今でも岩手の皆さんの愛情を感じている」と語っていました。

菊池投手の存在が大谷選手の目標をより高めへと上げていき、人間の限界に挑戦するような数値が、佐々木投手を生んだと言ってもいいと思います。ヤクルトの畠山和洋選手は引退会見で「昔に比べてプロが身近になったことはすごく大きい」と語っていました。菊池や大谷を追って県人がメジャーを目指せば第2、第3の岩手対決も夢ではなくなってきます。

さて、今季の2人のシーズンはほぼ終了となり、菊池投手は6勝11敗、防御率5・46、大谷選手は打率.286、18本塁打、62打点でした。菊池投手の場合はルーキーシーズンで、チームも再建段階という状況もあり、「1シーズン先発ローテーションを守りきる」というのが最優先目標でした。本

塁打を打たれる場面も目立ちましたが、100球未満で完封を挙げるなど、メジャー相手にも通用した試合も数多くありました。大谷選手は右肘のリハビリと平行して、プロでは初の打者専念の1年となり、序盤は30本塁打超のペースで本塁打を重ねましたが、後半に甘い球を捉えきれず、思うように本塁打を量産できませんでした。ただ、打率は1年目とほぼ同じで研究され続ける中でも結果を残しました。

来季は菊池投手は目標2桁勝利、大谷選手は二刀流復活の年となります。1年間戦い抜いた菊池投手は大リーガーを抑える方法を徐々に覚え始めており、高めの直球、チェンジアップの習得など球質を磨けば十分にエース級の活躍が見込めま

す。野手陣や救援投手のメンバーがどうなるかは分からないので、常に6回3失点以内のクオリティスタートを重ねることが大事です。大谷選手は現在、膝の手術明けでこれからリハビリに入ります。肘は順調に回復しているので、まずは体の状態を最優先しながら、新人王を獲得した1年目以上の活躍を目指す予定です。

佐々木投手も今後プロ志望届を提出する見込みで、10月17日のドラフト会議では複数の1位指名が確実視されています。大谷選手のようにまだまだ体が未完成の状態なので、日本だけでなく、世界を驚かせる伸びしろを秘めています。野球人口は年々減っていますが、岩手の至宝を活躍にぜひ注目してください。

例 会 報 告

**第11回例会
令和元年9月27日(金)**

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 西島光茂会長
- ・ロータリーソング
(手に手つないで)
- ・ビジター 鈴木博高さん(長野上田RC)
- ・ゲスト 小田野純一様
(岩手日報社 編集局運動部次長)
- ・会長報告 西島光茂会長
- ・幹事報告 勝 雅行幹事
- ・委員会報告

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡西R.C.=
10月17日(木)合同例会のためベル

ヴィ ロヴィナテラス
10月31日(木)特別休会

- 盛岡中央R.C.=
10月15日(火)合同例会のためベル
ヴィ ロヴィナテラス

【ニコニコBOX】

- ◆飯塚肇君…東レパン・パシフィック・オープンテニス、生まれ故郷の大阪で久しぶりに優勝した大坂なおみにニコニコします。

ファーストサーブが入った時のポイント獲得率100%の数値が示す内容で、この大会では1セットも落とさず安心して見ていることが出来ました。

1995年の伊達公子以来、24年ぶりの日本人女子の優勝でした。

- ◆西島光茂君…小田野さん
テレビなどでは聞けないような詳細で心のこもったお話でした。

菊池さんも大谷さんもがんばって欲しいと思います。

- ◆大久保嘉二君…ラグビーワールドカップがいよいよ開幕。25日には、釜石での第1戦も行われました。開幕戦でロシアに快勝した日本はあすアイルランドと戦いますがNHKではイオンモール盛岡で8Kのパブリックビューイングを行います。ぜひお越しください。

引き続きテレビ岩手さんとともにワールドカップを盛り上げます。

- メイクアップ
盛岡西R.C.=熊谷(祐)君
盛岡東R.C.=菅原君
クラブ委員会=工藤(幸)・岡村・田村君

出席報告

会員数/76名

出席数/41名

出席率/56.16%

前々回/72.60%



プログラムのお知らせ

- ・10月4日(金) 新入会員卓話 榎野信治会員「テレビ岩手の50年と記念事業」
- 11日(金) 新入会員卓話 星 伸寿会員「学校教育の動向とICT活用」
- 17日(木) 秋の懇親会(18日例会変更)
- 25日(金) 第2回クラブアッセンブリー
- ・11月1日(金) 特別休会②
- 8日(金) 新入会員卓話 赤沢文彦会員

●本号編集担当/伴 亨